

モロッコ政治月報(11月)

2015年1月7日
在モロッコ大使館

11月のモロッコの政治情勢等を当地報道を中心にとりまとめたところ、以下のとおりです。要人往来については末尾に一覧表を付しました。

なお、当政治月報は当月中にメディアで多く取り上げられた話題をその都度記録したもので、これらニュースについての当館及び日本政府の立場を何ら反映するものではありません。

【主な出来事】

- ◎ ララ・ハスナ王女の訪日(11月9-12日)
- ◎ バイデン米副大統領のモロッコ訪問(11月19-20日)
- ◎ モハメッド6世国王の訪中発表と訪中延期(11月24、25日)

<内政・政局>

1 緑の行進記念日 国王演説

(1) 6日、モハメッド6世国王は第39回緑の行進記念日にあたり、国民に対する演説を行った。

(注: 緑の行進とは、1975年11月6日にハッサン2世国王(当時)の主導で行われた、モロッコ人35万人による西サハラ地域への「平和的」行進)

(2) 演説の中で国王は、モロッコ政府は西サハラ地方がもたらす税収1DH当たりにつき7DHを投資しており、モロッコが西サハラの資源を収奪しているというのは神話に過ぎないと強調した。また、西サハラ地方に特化した開発モデルと地方分権化改革の実施を表明した他、従来からのモロッコの立場を述べた。

2 経済社会環境評議会(CESE)による年金改革案答申

(1) 10日、バラカCESE議長(前経済・財政相)は、ベンキラン首相から諮問を受けていた年金改革案についての答申を発表した。

(2) 各労組と政府との間で論争が続く退職年齢引き上げについてCESEは、6年間で60歳から63歳への引き上げ(毎年0.5歳の引き上げ)を提案。

3 ムーレイ・ラシッド王子の結婚祝賀の儀

(1) 13日から15日の3日間にわたり、王弟ムーレイ・ラシッド王子とウム・カルスム妃(2014年6月成婚)の結婚祝賀の儀が、モハメッド6世国王の主催によりラバト王宮で行わ

れた。

(2)モロッコ王室、モロッコ政府閣僚の他、ボンゴ・ガボン大統領、ベルナデット・シラク元仏大統領夫人、湾岸諸国の王族等が参列した。

4 2015年予算法案、衆議院通過

16日深夜、衆議院で2015年予算法案が可決され、参議院へ送付された。

5 南部地方の洪水被害

(1)発達した低気圧の相次ぐ接近のため、22日の週末から29日の週末にかけてモロッコ中南部から中東部で大雨が続き、特にシディ・イフニ周辺(ティズニット県)やグルミム県で、普段は水のない川の増水により、橋の崩落や家屋倒壊等、大きな被害が出た。

(2)内務省は36名が死亡したと発表。橋の崩落や道路の寸断によって孤立した集落では食料・水の供給に困難をきたし、憲兵隊がヘリコプターによる物資輸送や急病人の搬送を行った。

<外交・国際関係>

6 第37回アフリカ議会同盟会議の開催

(1)1日から2日まで、ラバトで第37回アフリカ議会同盟会議が開催され、ベンキラン首相、タルビ・アラミ衆議院議長、ビアディラ参議院議長が出席した。

(2)同会議でタルビ・アラミ衆議院議長が同議会同盟議長に選出された。

7 俞正声中国人民政治協商会議主席のモロッコ訪問

(1)4日、モハメッド6世国王はフェズ王宮で、俞正声中国人民政治協商会議主席の謁見を受けた。会談では11月末に予定されていたモハメッド6世国王訪中への期待が述べられた。

(2)モロッコ側はビアディラ参議院議長およびエル・ヒンマ国王顧問が同席。

(3)俞正声主席は3日から4日までモロッコを公式訪問し、ベンキラン首相及びタルビ・アラミ衆議院議長とも会談した。

8 ララ・ハスナ王女の訪日

(1)9日から12日まで、ララ・ハスナ王女(モハメッド6世国王の妹)が、持続可能な開発のための教育(ESD)ユネスコ世界会議出席のため、日本(名古屋)を訪問した。

(2)ララ・ハスナ王女は名古屋で皇太子殿下とご会見した他、下村博文文部科学大臣と会談され、持続可能な開発のための教育について話し合った。

(3)モハメッド6世環境保護財団総裁を務めるララ・ハスナ王女は、同会議の賓客としてユ

ネスコにより招待され、基調演説を行った。

9 シンクタンクによる国際シンポジウム MEDays フォーラム開催

(1) 12日から15日まで、モロッコのシンクタンクの1つである Institut Amadeus 主催により第7回 MEDays フォーラムがタンジェで開催された。

(2) 本年の同フォーラムには、ジョマア・チュニジア首相、サパテロ元西首相、ボルロー元仏環境相等が参加した。

(3) 同フォーラムは地中海連合をテーマとして2008年に初めて開催され、毎年タンジェで開催されている。主催団体である Institut Amadeus は、タイエブ・ファッシ・フィフリ国王顧問(元外相)の子息であるブラヒム・ファッシ・フィフリが2008年に創設した。

10 バイデン米副大統領のモロッコ訪問

(1) 19～21日にマラケシュで開催された第5回世界起業家サミット(GES)出席のためモロッコを訪問したバイデン米副大統領は、19日、フェズ王宮でモハメッド6世国王に謁見した。

(2) 20日、同副大統領はGES開会式での基調演説で、起業・イノベーションの重要性を強調した他、米国とMENA地域の若者の交換プログラムの立ち上げや、ミレニアム・チャレンジ・コーポレーション(MCC)によるモロッコの職業訓練に対する5000万ドルの供与を表明した。

11 第5回世界起業家サミット(GES)の開催

(1) 20日から22日まで、第5回世界起業家サミットがマラケシュで開催された。世界起業家サミットは2009年にオバマ米大統領の主導により、米国とアラブ・アフリカ諸国を中心とした世界各国との経済関係強化を目的として立ち上げられた。第5回目となる本サミットには、米国からバイデン副大統領、プリツカー商務長官等が参加。モロッコからはベンキラン首相、エル・アラミ商工業・投資・デジタル経済大臣他ほぼ全ての閣僚が開会式に出席し、民間セクターからも多くの要人の出席を得て盛大に執り行われた。アフリカの要人としてはボンゴ・ガボン大統領およびコンデ・ギニア大統領が参加した。参加者総数は4,500人だったとの報道もある。

(2) 20日の開会式典では、ベンキラン首相がモハメッド6世国王からのメッセージを代読し、バイデン米副大統領が基調演説を行った。

(3) 同サミットに先立つ19日には「女性の日」ワークショップが開催され、ナスリ国王顧問、プリツカー米商務長官、ベンサラ・モロッコ経団連(CGEM)会長(いずれも女性)が挨拶を行った。

12 モハメッド6世国王の訪中発表と訪中延期

- (1) 24日、王宮府はモハメッド6世国王が27日から中国を公式訪問すると発表した。
- (2) 25日、王宮府はモハメッド6世国王が健康上の理由で中国訪問を延期すると発表した。王宮府声明によると、国王は急性の風邪の症状を呈し、体温 39.5 度、気管支炎を併発した。

13 韓国・モロッコ首脳会談

- (1) 25日、鄭烘原(Chung Hong-won)韓国国務総理はベンキラン首相と会談した。
- (2) 同総理は韓国の首相としては初めてモロッコを訪問した。
- (3) 25日にはモハメッド6世国王への謁見が予定されていたが、国王の健康上の理由で中止となった。

14 第2回世界人権フォーラムの開催

- (1) 27日から29日まで、マラケシュで第2回世界人権フォーラムが開かれ、94か国から7,000人の人権活動家等が参加。モハメッド6世国王は、ラミッド法務・自由権大臣の代読によるメッセージの中で、アフリカはいつまでも外部機関の評価の対象ではなく、人権概念の創造に参画すると述べた他、モロッコが拷問等禁止条約選択議定書を批准したことを表明した。
- (2) 同フォーラムでは、女性の権利、児童の権利、移民の現状、死刑廃止、信教・良心の自由等が議論された。

15 中国・モロッコ経済フォーラムの開催(北京)

- (1) 28日、北京で、モロッコ経団連(CGEM)とモロッコ銀行連合(GPBM)の共催により、第1回モロッコ・中国经济フォーラムが開催された。
- (2) モロッコからはメズアール外務・協力大臣、ラバハ設備・運輸・ロジスティクス大臣、エル・アラミ商工業・投資・デジタル経済大臣、ハッダド観光大臣、アハヌッシュ農業・海洋漁業大臣、ブーサイド経済・財政大臣等計8名の大臣、ベンサラ・モロッコ経団連(CGEM)会長、ケッタニ Attijariwafa 銀行総裁、ベンジェルンGPBM会長(BMCE銀行総裁)等の経済界要人が参加。また、両国投資家550人以上が出席。
- (3) Attijariwafa 銀行は、5つの金融機関(中国銀行、中国開発銀行、China Exim Bank等)と4つの企業(Huawei、Sepco III、Shandong Shagang、Haifen Fisheries)とのパートナーシップ協定に調印。中国銀行との協定は、アフリカでの商取引における人民元決済の促進を謳っている。また、中国開発銀行との2つの協定は、モロッコ及びアフリカの中小企業を対象とする1千万米ドルの借款契約と、中国企業のアフリカ進出と両国貿易及び投資を促進するもの。
- (4) その他、エネルギー・鉱物資源、観光及び金融・銀行分野に関する約30の協力協定、協約、合意覚書が署名された。

(5)報道によると、本経済フォーラムは延期された国王訪中に合わせて計画されていた。

16 湾岸諸国・モロッコ投資フォーラムの開催

(1)28日から29日まで、カサブランカで湾岸諸国・モロッコ投資フォーラムが開催された。

(2)モロッコ政府からはベンキラン首相が開会式に出席。湾岸諸国からは、アハメド・ベン・ジャセム・アッサーニー カタール経済・貿易大臣他、約100人の政財界関係者が出席した。

(3)カレド・アルアブディ イスラム民間部門開発公社総裁は、モロッコにおける諸改革は、湾岸諸国が対モロッコ投資を今後10年間で1200億ドルまで増加するに十分なものであると述べた。

<モロッコ要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
11月9-12日	日本(名古屋)	ララ・ハスナ王女 ベルモフタル国民教育大臣	持続可能な開発のための教育(ESD)ユネスコ世界会議
11月28日-	中国	計8閣僚 (上記15(2)参照)	第1回モロッコ・中国経済フォーラム

<外国要人のモロッコ訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
11月3-4日	中国	俞正声人民政治協商会議主席	公式訪問
11月13日-	ガボン	ボンゴ大統領	ムーレイ・ラシッド王子結婚祝賀行事
11月13-15日	チュニジア	ジョマア首相	実務訪問、国際シンポジウム出席、ムーレイ・ラシッド王子結婚祝賀行事出席
11月17日-	中国	曹健林(Cao Jianlin) 科学技術部副部長	第1回中国・モロッコ科学技術協力合同委員会
11月19-20日	米国	バイデン副大統領	第5回世界起業家サミット(GES)
11月19日-	ギニア	コンデ大統領	第5回世界起業家サミット(GES)

11月20日-	ガボン	ボンゴ大統領	第5回世界起業家サミット (GES)
11月20日～ 12月11日	ブルキナ・ファソ	コンパオレ前大統領	逃亡先のコートジボワールから一時滞在
11月24-26日	韓国	鄭烘原(Chung Hong-won) 国務総理	公式訪問(首脳会談他)
11月24-27日	コートジボワール	ソロ国民議会議長	公式訪問 (加えて3日間の私的滞在)
11月25日-	カナダ	パラディ国際開発・仏語圏大臣	新大使館建物竣工等

(了)